

議会だより



『苗木を接ぎ・農を継ぐ』八鍬さん夫妻（作の巻）

もくじ

3月定例会	2~5P
予算審査特別委員会	
一般質問	6~10P
所管事務調査	11P
生産者の声	12P

第 103 号

平成27年度当初予算 **51億8,890万円**

一般会計総額 **36億7,000万円**

特別会計総額 **15億1,890万円**

国民健康保険特別会計	5億2,330万円	介護保険特別会計	3億7,830万円
簡易水道事業特別会計	1億5,000万円	浄化槽整備事業特別会計	3,460万円
特定環境保全公共下水道事業特別会計	1億6,450万円	後期高齢者医療特別会計	3,020万円
へき地診療所特別会計	2億3,800万円		

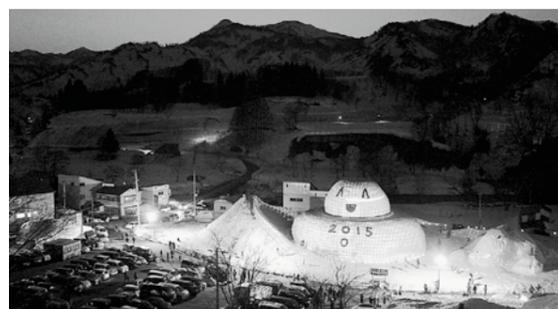
平成26年度一般会計及び特別会計補正予算

☆平成26年度大蔵村一般会計補正予算（第10号）

- 〳 大蔵村簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）
- 〳 大蔵村特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）
- 〳 大蔵村へき地診療所特別会計（第3号）
- 〳 大蔵村介護保険特別会計補正予算（第3号）
- 〳 大蔵村浄化槽整備事業特別会計補正予算（第2号）
- 〳 大蔵村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 〳 大蔵村一般会計補正予算（第11号）【追加提案】

（単位：千円）

	補正額	総額	主な補正内容
一般会計	24,000	3,627,000	高度経営体集積促進費及び教育振興基金積立金等
	53,000	3,680,000	「まち・ひと・しごと」創生事業
簡易水道	△2,934	115,166	水道布設費（工事請負費）の減額等
下水道	△1,143	154,857	下水道管理費（工事請負費）の減額等
診療所	△16,626	205,329	需用費（医薬材料費）の減額等
介護保険	7,339	392,295	保険給付費（介護サービス給付費）の追加等
浄化槽	△1,764	33,636	浄化槽整備事業費（工事請負費）の減額
後期高齢者医療	△4	32,996	広域連合納付金（保険料等負担金）の減額



魅力ある観光地創造



人事案件
 監査委員
 新任
 土屋
 徹氏
 （清水）

3月定例会

3月定例議会が10日から13日までの会期で行われ、27年度の一般会計、特別会計の予算審査を行いました。

その他26年度補正予算7議案を含め、42議案を原案通り可決・同意。議案審議に先立ち、5名の一般質問が行われ村長と活発な議論を交えました。



主な事業

総務費 **5億850万円**

- ・結婚相談事業
- ・地域おこし協力隊招へい事業
- ・海外研修事業
- ・地域活性化推進事業

土木費 **6億9,200万円**

- ・住宅リフォーム総合支援事業
- ・折渡平林線道路改良事業
- ・大坪福田工業団地線
暴風雪柵設置事業

民生費 **6億2,600万円**

- ・誕生入学祝金支給事業
- ・多子世帯保育料負担軽減事業
- ・認可外保育施設育成事業
- ・特定教育保育施設型給付

消防費 **1億1,700万円**

- ・防火水槽設置事業（2箇所）
- ・消防積載車購入（2台）
- ・ドクターヘリ誘導事業

衛生費・労働費 **3億5,900万円**

- ・健康づくり推進事業
- ・太陽光発電システム等設置事業
- ・野菜等選果調整施設
管理者育成事業

教育費 **3億9,600万円**

- ・おおくら未来塾事業
- ・スクールバス運行事業
- ・中央公民館トイレ改修事業
- ・肘折生涯学習センター耐震化事業

農林水産業費・商工費 **5億400万円**

- ・戦略的園芸産地拡大支援事業
- ・農産物加工場整備事業
- ・地域限定旅行業事業化促進事業
- ・魅力ある観光地創造事業

予算審査特別委員会

一般会計予算質疑

歳入

問 固定資産税の予算が減額となっているが。

答 家屋の新築も10軒ほど全体の評価は減額で、土地の評価も下がっている。

問 地方消費税交付金の増額の内訳は。

答 消費税が8%に上がったことが要因で、前年度配分の残額も今回交付されるが。

問 地方交付税が6千万減額となっているが。

答 最上広域事務組合の立替分が減った村への交付税額は変わっていない。

問 交通安全対策交付金が減額だが。

答 前年の交通違反者の増減が反映されるもの。違反者が減ったことが要因。

歳出

問 新設される「地域起し協力隊」の内容は。

答 2名、3年を期限で置く事ができる。現在1名の希望がある。村に馴染んで全国に魅力を発信する活動を望んでいる。出来れば定住も期待したい。

問 ふるさと納税の謝礼金を増額計上しているが。

答 昨年は予定より多額の納税があり、余裕を持って予算計上した。人気の商

品は「米・地酒」など。

問 小型除雪機購入費助成の制度、毎年計上しているが活用されているのか。

答 県の雪対策補助事業で、共同での活用なので、あまり使われていない。

問 地域活性化推進事業補助金増額計上の内訳は。

答 地区公民館の運営に必要な最小限の費用を補助したい。詳細は今後詰める。

問 「農産物加工施設計画」の内訳は。

答 村の農産物や野菜などを加工・販売する目的。今年度は用地の購入や施設の設計を行う。

問 大蔵村土地改良区補助の内訳は。

答 単独で運営してきた改良区を、村で一つにする計画。許可を得て計画を進めたい。

問 「美しい農村再生支援事業」とは。

答 国の補助事業で、四ヶ村地区で取り組み、地域資源の掘起こしや地域の活性化を図る活動を目指したい。

問 熊高く桂線の改良工事の内容は。

答 藤田沢集落の南側の整備を進め、27年～28年までの2年間で整備を行う予定。

問 消防再編の計画内容は。

答 現在の7分団体制を見直し、4分団制とする計画。27年度を移行期間とし28年度の新体制発足を目指したい。

特別会計予算質疑

国保

問 共同安定化事業拠出金の大幅増額の詳細は。

答 国の基準が変わり、納付額に関わらず共同事業で処理することとなった。

問 簡易水道

答 水道管移設事業の内訳は。

問 国道458号の改良工事の為に水道管の移設を行い、今年度完成の見込み。

問 簡易水道総合認可許可作業とは。

答 村内の簡易水道事業を、村で一本化する事業。

へき地診療所

問 診療所器具の更新、どこの部分。

答 超音波エコーの更新が主なもの。

問 介護保険

問 介護保険事業費が上がり、利用費も上がるのか。

答 今回、改定により各項目ともに値上がりとなった。利用費も増える見込み。

浄化槽

問 浄化槽整備事業費が高くなったが。

答 新年度の基準に合わせたため。国の補助対象ではないが、県の助成があるので、住民の皆さんの負担は変わらず少ない。できるだけ早急に整備を図りたい。

主な議事

条例の設定

☆大蔵村教育長の職務に専念する義務の特例その他の勤務条件に関する条例

☆地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、関係条例の整備・整理に関して定める

☆ふるさと大蔵村応援基金条例
・寄附された資金の有効活用を図るため、ふるさと納税の財源として新たに基金を創設する

☆大蔵村魅力ある観光地創造基金条例
・過疎対策事業債ソフト事業分の一部を財源として、村の観光振興を図る目的で基金を造成する

☆国分忠之助教育振興基金条例

☆後藤榮教育振興基金条例

☆株式会社カドワキ教育振興基金条例
・教育振興会が財団法人の資格を失ったことから、更なる会計処理の適正化を図る目的で、基金条例を整備する

☆国分辰夫教育振興基金条例

・遺贈を受けた資金を基に、新たな教育振興を目的とした奨学資金制度を創設するため、基金を設置する

☆大蔵村奨学資金貸与条例

・新たに設置した教育振興基金による奨学資金の貸与について、関係規定を整備するもの

☆大蔵村交流促進住宅の設置及び管理に関する条例

・森林管理署の旧職員住宅2棟について、交流促進住宅として管理することを定める

☆大蔵村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例
・子ども・子育て支援法の施行に伴

条例の改正

い、利用者負担金等に関する事項を定める

☆大蔵村議会の議決すべき事件を定める条例の一部改正
・議会の議決をする事件を追加する必要があるため改正をする

☆大蔵村行政手続条例の一部改正
・行政手続法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、所要の整備を行うために改正する

☆大蔵村一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正

・人事院及び山形県人事委員会の勧告に基づき、一般職員の給与について所要の整備を行うために改正する

☆大蔵村介護保険条例の一部改正

・第6期大蔵村介護保険事業計画の策定に伴い、平成27年から平成29年度までの介護保険料等を改正する

☆大蔵村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

☆大蔵村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

☆大蔵村指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

・介護保険法施行規則等が改正されたことに伴い、関係規定を改正する

☆大蔵村道路占用料徴収条例の一部改正

☆大蔵村法定外公共物管理条例の一部改正
・全国的な地価水準の低下に伴い、占用料等の見直しが行われたので山形県に準じて改正する



佐藤 勝 議員

村道改良の計画方針は 村長 第3次村総合計画を柱に

問1 村道の改良は、必要性や安全性・緊急性と予算等を検討し順次実行して、その成果が村内各所に見られる。特にスクールバス路線や生活道路の改良は、大きな効果が期待できる。

答1 第3次大蔵村総合計画や過疎地域自立促進計画を柱に、公共性の高いものから整備したいと考えている。スクールバス・村営バス路線の整備のほか、高規格道路・国道へのアクセス道整備や、橋梁・トンネルなどの老朽化対策、定住促進のための集落内道路の整備は不可欠であると考えている。平成25年7月の大雨では4集落が孤立状態と

なりましたが、土砂災害や雪崩などに強い道路整備も必要であると考えている。また、村の財政事情は大変厳しいものがありますが、できる限り国の補助金や過疎債、辺地債といった有利な起債事業を活用しながら進めたい。

問2 村内を巡回した結果次の路線は早急に改良を必要とするものと感じる。

「肘折〜カルデラ館」・「郷地区の国道への取り付け部分」・「藤田沢集落の未改良部分」・「升玉集落への連絡路線」・「作の巻地区の生活道路」・「烏川集落の裏通り」など、今後計画を立てる際十分な検証が必要と考える。

答2 村内道路7か所を具体的に挙げてもらいましたが、今後危険性・利便性等を勘案し早期に整備できるように検討していきます。

また、村道については、県・国道へのアクセス道としても総合的に考えていきます。

問1 介護福祉は、超高齢化が進む中、要介護者は年々増加する一方、介護する人が年々減少している傾向である。

施設介護には人数の制限やさまざまな規制があり、介護士の給料や労働条件などが連日報道されている。

また、在宅介護にはさらに深刻な問題がある。高齢者の夫婦や親子二人暮らし等、どちらが介護されているのか分らないという問題がある。今後、予想される問題をどう捉えているのか伺いたい。

答1 高齢者が安心して生活できるように、地域包括支援センターを中心として、相談業務の充実や身体機能維持のための運動教室など家族の方々の不安を軽減するための事業を充実していきたいと考えていることは地域でのご支援や見守り、

理解が重要と考えます。

問2 施設に入所出来ない一人暮らしや老夫婦、また高齢者を抱えた親子暮らしの人達が多い。

特に、親子暮らしの形態は子供が親の世話をし、子供が働きに出ている間、親は孤独に耐えている。孤独は生活の不安や生きる意欲をなくし、ひいては病気を誘発する。

これらの防止対策として、廃校や空き家を活用して集団生活の場の提供や、通院のために送迎や訪問診療等は不可能なのか。

答2 村の公共施設を利用した、老人の集団生活の場の提供については、医師の訪問診療も含めて村でも検討しています。

集団生活ができるような場合は理解を得ながら進めていきます。

今後の介護福祉について 村長 地域包括支援センターを中心に

村民のためになる「地方創生」は 村長 商品券や旅行券の発行



八鍬 信一 議員

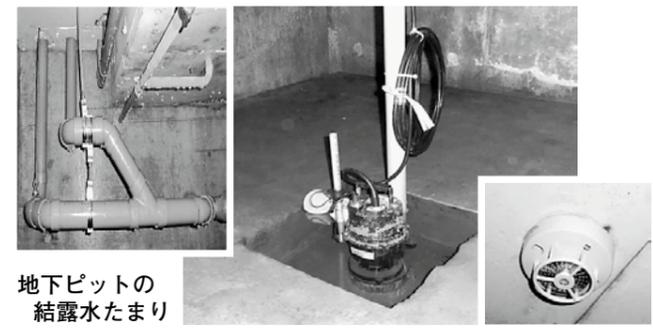
問1 国は、人口減少を克服し活力ある日本社会を実現するための5か年計画を提示した。これが地方創生で、自治体の施策によって交付金を支給するものである。

その内容は「地域消費喚起・生活支援型交付金」で使途内容については商品券や旅行券等を挙げている。もう一つは「地方創生行型交付金」で、併せて4200億円計上している。

この後、「まち・ひと・しごと創生戦略」と続くわけだが、これらを踏まえ村民のためになる施策をどのように策定しているのか。

答1 国では「地方版総合戦略」を策定し、その支援として大蔵村では「地域消費喚起生活支援型」に1053万円、「地方創生先行型」に3120万円の交付予定を受けている。

現在、国から示された「まち・ひと・しごと」の創生事業のうち、消費喚起として、プレミアム商品券や旅行券の発行、地方創生先行は村内農産物の販路拡



地下ピットの結露水たまり

大・アンテナショップ設置・地域おこし・観光振興などの協議を進めている。今後は、総合戦略策定委員会を立上げ地方版戦略の企画に当たっていききたい。

問2 我が大蔵村であれば現在製造しているペット水の販売や、トマトの加工商品開発はこの事業に該当しないのか。

答2 水の販売や商品開発等を、今回の計画策定の中で挙げれば次年度以降可能かと思う。

問1 本年1月25日、赤松生涯学習センター地下ピットにおいて火災感知器の誤作動により、広域消防はじめ各分団の消防車が出動する火災誤報があった。

昨年7月26日には、大蔵小学校でも同じ誤報が発生し、各施設の点検をするとの話を聞いたが、なぜ2度もこのような事態を繰り返すことになったのか。

赤松生涯学習センターの誤報防止対策を始め、各村有施設の点検や改善措置をどのように実施したのか。

答1 大蔵小学校の誤報は感知器の一つが日照温度と砂埃が原因で作動したもので、ピロティ部分設置102個全てで交換した。

また、赤松生涯学習センターは、地下に設置した感知器が結露を原因とし作動したもので、施設全箇所と他の教育施設についても緊急点検を行った。

防災設備の点検と対策 村長 すべての施設の点検実施

問2 今回は、地下ピットに設置した熱感知器のバイメタル金属部分の錆によりスイッチが入ったと業者に聞いている。地下には水道管が通り結露が発生しコンクリート床に水が溜まっている状況で排水用のポンプがある。

今後誤報が懸念されることから、地下感知器の全面取り替えと結露対策として換気口や換気扇の設置が必要と思われるかどうか。

今回消防関係・警察が現場に集合したが地区の鍵所持者との連絡付かず、セコムを待つことになった。複数の所持者の不在もあるわけで、鍵の管理の検討も必要と思うかどうか。

答2 今後すべての施設の点検をやっている中で、問題の環境改善と感知器の環境に合わせた点検交換を行って行く。鍵の管理についてもきちんとした対策を取っていききたい。



加藤 忠己 議員

村の危機管理 村長 公共施設の耐震補強を

問1 東日本大震災より4年が経過しようとしておりその後、肘折地区で県道崩落という大きな災害も発生しています。老朽化する役場庁舎、中央公民館耐震診断後の方向性は。災害緊急情報メールの配信や登録者の状況は。そして、今年の雪による事故の実態はどうか。

空き家については、適正に管理されていない空き家が年々増えています。雪の重みで倒壊等、事故に繋がりがねないところもあります。

空き家はあくまで個人の財産であり、管理や保守は所有者で行うべきであり、手が出せない段階を超えていると思います。空き家対策条例の制定や特別交付税等も視野に入れて早急に検討すべきと思うが。



県道崩落からの復旧

その段階で変更する場合も考えています。

現在、災害緊急情報メールの登録者は消防団、村職員等180名の方々から登録があります。このシステムは、非常時に必要な情報を即時に発信する目的です。ので、多くの皆様から登録して頂くよう努力します。

現在53件の空き家を確認し、定期的な見回りを実施しています。取り壊して頂いた家屋は1棟のみです。安易に、村が撤去など行うことは、今以上に所有者の管理の責任が不明確になるなど、空き家管理が不適切になることも危惧されます。村として、個人の財産

答1 役場庁舎、中央公民館は平成30年度まで、耐震補強工事を計画しています。村有財産総合管理計画の策定をする必要があるので、

を侵害しないよう、意を配する必要がありますと考えています。

問1 公職者については、法律によるもの、条例や要綱によるものなど多くありますが、その多くは執行部が選任しており、議会が同意するのはごくわずかです。名称は違っていても選任される人は同じということもあります。村には人材がないのか、そうではないと思います。

村の広報誌等で公職の候補者を公募することは、隠れた人材を発掘する事や一人でも多くの方に村の事業に関心を持って頂き、村の活性化の一端にもつながるのでは。

答1 村では第3次総合計画の中で共に創り育む交流の村づくりを掲げ、行政と住民協働による村づくりを

行なっています。各種委員会への住民の積極的な参加は大変頼もしい事であり、提案は大いに歓迎します。しかし、委員会の性質上公募になじまない委員会もあります。組織される委員会等は、村民に開かれたものである事が最も重要なことと認識しています。村民の方々、特に女性の方々の積極的な参画をお願いします。

今後は、各種委員の改選など機会を捉えて、委員会等の委員の公募を推進すると共に、村民が積極的に参画できる体制を整えていきます。



長南 正一 議員

喫緊の課題にどう対処 村長 「自治体経営」から 「地域経営」へと

問1 国の方針にのっとり、吉川県知事もやまがた創生予算と名付けた県の2015年度予算案が県議会に内示され、人口減少対策、産業振興、エネルギー対策、農業の6次産業化など成長戦略に重点的な配分内容になっている。

県が示す重点項目はいずれも本村にとって直結する課題で、特に身近に迫る農協改革、農政の大転換、さらには人口減少対策等々喫緊の課題にどう対応し、村民の付託に応えようとしておられるのか施政方針をさらに掘り下げた具体策を伺います。

答1 施政方針で述べた5つの基本方針のもと、村民の方々の総合的な福祉の充実を目標としています。言い換えれば、村民の方々が「生きがい」と「自尊心」を満たしつつ、心底から「住んで良かった」と思える地域づくりを進めることが、ひいては人口減少の歯止めにつながるものと考えています。

地域づくりを行うのは、村民の方々の力が重要となります。その担い手となり行政とともに活動していただく必要があります。特に第一線を退かれた方々のご理解とご協力をお願いしなければなりません。

問2 まずは、新年度予算案に基づいた事業の推進であるが、同時に集落ごとに持っている資源や技術を生かした地方創生事業の積み重ねが大事である新年度に向け、村民が等しく高揚感の持てる総参加型の執行を望む。

答2 様々な委員会やあらゆる機会をとらえて、あらゆる世代の住民の方々と一緒に汗をかいて、村の重要な事業について理解を求めて進めていきたい。

問3 行政は生きものであるが、時として出てくる村民の要望には公共性の低いものであっても的確迅速にこたえるべきである。

特に、地区代表者会での要望には、財政調整基金を取り崩しても早急に対応すべきである。

答3 生活が第一で、地区代表者会での要望には出来るだけ当初予算で対応したい。突発的な災害等には財政調整基金で対応したい。



JA 社団法人化受け入れ

農協、60年ぶり大改革

そうした思い、決意を持ちながら「自治体経営」から「地域経営」へと考えを変革させ大蔵村の自立を目指すしてまいります。



企業成長持続へ支援

企業成長持続へ支援

新規創業の心機

若者定着や回帰図る



齋藤 義廣 議員

雪害対策に危険箇所の再点検を

村長 早期発見に努め速やかに除去

問1 今年の冬も、豪雪対策本部を設置するほどの大雪になり、今後の雪崩発生時期が大変心配される。今季は、寒気と暖気が激しく替わり、雪質も硬く水分も多く、重く、雪崩等が発生すると被害が大きくなるのではと思われる。

村ではパトロール隊を業者に委託して、村内を巡回し監視する体制も実施しているが、監視範囲はどこまでなのか、監視員からの報告にどう対処しているのか。又、倒壊の恐れのある危険な家屋や雪崩の危険箇所について対応策を伺いたい。



屋根の積雪状況

答1 独居老人等への訪問では、屋根の積雪状況や健康状態について、毎日報告を受けている。

村道等のパトロールについては、週2回の割合で行っている。除雪オペレーターに情報提供を依頼し、県との情報を共有し対応している。特に通学路や見通しの悪い交差点、雪崩の危険箇所については、早期発見に努め、速やかに雪庇や雪崩危険箇所の除去を指示している。

危険な家屋の位置や規模の現地確認や、可能な応急措置、行政指導に至るまで根気強く取り組みたい。

問2

業者はそれぞれの路線を巡回して、様々な状況を確認し、情報をもっている。県道に屋根からの落雪の心配もあり、村民やスクールバス等が被害にあうこともありえる。

担当課ごとにパトロールを行うのもよいが、業者に委託している事を考慮してパトロールのやり方を工夫してはどうか。

答2

役場の職員が何回となく確認しても、危険箇所の見落としはあると思う。さらに安全を期すと言う事で役場担当課ではパトロールを行うべきと思う。

役場として雪害や災害について、朝礼や課長会議で話し合い、指示を行っている。

所管事務調査報告

総務文教常任委員会

11月21日に大蔵小・中学校及び翠明荘を訪問し運営状況などの所管事務調査を実施した。

学校の運営状況は地域との連携を深められ、小中連携教育の推進も児童生徒の実態や児童生徒指導の方針・具体策等の情報交換が図られていた。

平常時に予告なしで非難訓練を実施しているが、今後は1年の計画の中で総合防災訓練等に取り込めないか、きめ細かなサポート体制の構築が教育環境の円滑な運営につながるものと感じてきた。

翠明荘では個々のケアプランに基づき、自立した生活を営むことができるよう支援しており、また、独自のグループケアを展開し、より快適で安心して生活できるように介護サ



ービスを受けられるものと感じた。今後とも、特色を活かした協働による、効果的な実践活動の積み重ねと併せ、地域との相互関係の継続と推進を望む。

産業建設常任委員会

昨年は12月に入り例年にならない大雪となり、1月20日冬期間の村内道路状況調査を実施した。

調査当日は時折小雪交じりの中、村内を隈なく巡回してきましたが、住民の生活から分離することのできない冬の厳しさを痛感した。

このような中、村道は除雪が行き届き、通勤通学や日常生活に支障をきたすような、危険箇所は見受けられなかった。

冬期間の除雪計画は、約61・8kmを計画路線として除雪機械14台をもって冬期交通の確保に努めているが、全国的にも名だたる豪雪地である本村では、除雪に携わる業者の頑張り地域住民の協力が最も大切であ



苗木生産に励む 八鞞清・富美子さん (作の巻)

Q 苗木生産を始めるきっかけは何ですか？

A トマトを栽培していたが、青枯病が多くその対策として自家用だけで接木苗を使用したら結果がよかったから。

Q 現在育苗している品目と本数は？

A 自家用トマト苗も含めて、ピーマン・ナス・きゅうり・ナンバ・カボチャ等で、約1万5000本位です。

Q 育苗する上で大変な事と大事に思っている事は何か？

A 最初、作物は皆同じだと思っていたが、全てが同じではない。又、きめ細かい温度管理が大変です。大事なことは、他の農家の分も委託されているので、責任感を強く持たなくてはならない事です。

Q 農家の方に呼びかけたことは何ですか？

A 集荷の際にはプラグ苗(25葉)と成苗に分けて渡すわけですが、いずれの苗も畑や温度管理を充分にして多くの収量を上げてもらいたいと思います。



所管事務調査報告

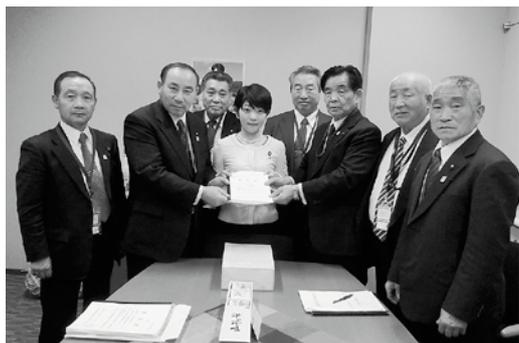
議会運営委員会

公共事業の早期促進を図

るため、2月4日、本県選出国會議員3名と国土交通省道路局を訪問し、一般国道458号の整備促進、主要地方道戸沢大蔵線の整備促進、県営ため池等整備事業赤松3期地区整備促進と併せ、今後大雪等も予想されるため、村道や家屋の除排雪状況など雪対策支援についても要望してきた。

その後、議会運営の取組みを研修するため国会議事堂において、衆議院予算委員会を傍聴してきた。

「2020年東京オリンピックは『復興五輪』」の質問や、「日本人質事件の情報で特定秘密に指定されているか」等の議論を傍聴した。



いずれも質問と答弁が簡

潔明瞭に議論されており、1時間ほどの時間ではありましたが、大変参考となりました。研修をさせていただいた。この経験を活かしながら本議会においても、より円滑な議事運営をもつて適正且つ妥当な議決が得られるよう、なお一層の努力をしていく。

コラム

厳しい冬も終わり、雪国の人にとっては青空の様に重圧感から解放され、外の空気を大きく吸い、思い切り歌いたくなるような季節になりました。

人間、頭なんか悪くてもいい。裕福でなくてもいい。顔や姿は気にしなくてもいい。この開放感を常に味わえる元気な体と豊かな心を持つてゐる事が一番幸せであり財産でないかと思えます。

さて、私たち広報委員も4年間の任期を終了します。村民の皆様に出るだけわかりやすく、正確に伝える事に日々努力して参りました。少しずつではありますが、皆様には村政に対し興味を持って頂けたのではないかなと思っております。

新年度からは新しい委員で、これまで以上に行政と皆様の架け橋となりますように頑張ることと思っております。宜しくお願ひします。委員一同これまでのご協力に心から感謝申し上げます。

佐藤 勝 記

- 委員長 八鞞 信一
- 副委員長 加藤 忠己
- 委員 佐藤 勝
- 委員 矢口 智